

タイトル	3.1.2	松田権六関係資料
レファレンスコード	3.1.1	GEIDAI-CA013
作成年	3.1.3	1930-1997, bulk 1953-1986
記述レベル	3.1.4	ファンド
媒体と数量	3.1.5	16箱（封筒711件）
伝来	3.2.3	松田権六は、1945年の空襲により、戦前に豊島区池袋の自宅で保管していた資料の大部分を失った。このため、現在残る「松田権六関係資料」は、戦後に収受・収集されたものである。 1987年頃、松田の没後、資料群は遺族によって文京区千石の自宅から東京藝術大学美術学部漆芸研究室へ寄贈された。その後、2003年の校舎移転に伴い、学内の新たな棟へ移された。 2022年、資料群が漆芸研究室から近現代美術史・大学史研究センター（現・大学史史料室）へ移管された後、2024年に整理が進められ、資料群は適切なシリーズに配置された。
内容	3.3.1	この資料群は、主に1950年代から1980年代にかけての漆芸家松田権六の活動を広く記録している。これには、戦後の文化財保護行政の成立過程や、伝統工芸界の再興、国宝を含む文化財修復事業への関与、東京芸術大学漆芸研究室での教育・研究活動、日本芸術院における組織運営、公立・私立美術館の管理運営、さらに平和友好事業への参加などが含まれる。 資料の大半は会議文書で構成されており、議題、開催通知、参考資料、事業計画書、報告書、予算書、決算書、定款、議事録などが含まれている。また、松田の調査ノートや自筆資料、書簡類も収録されている。さらに、松田が活動を通じて収集した刊行物も含まれている。
編成	3.3.4	松田の社会的役職にもとづき22のシリーズとして編成した。 シリーズ1：松田権六の収受・収集資料, 1933-1997 シリーズ2：東京芸術大学関係資料, 1930-1982 シリーズ3：文化財保護審議会関係資料, 1950-1978 シリーズ4：日光社寺文化財保存会関係資料, 1950-1972 シリーズ5：日本芸術院関係資料, 1951-1984 シリーズ6：東京国立近代美術館評議員会関係資料, 1952-1976 シリーズ7：日展関係資料, 1952-1958 シリーズ8：東洋美術協会関係資料, 1952 シリーズ9：日本工芸会関係資料, 1954-1983 シリーズ10：日本スポーツ芸術協会関係資料, 1954 シリーズ11：東京都文化財専門委員会関係資料, 1955-1968 シリーズ12：パイロット万年筆株式会社関係資料, 1955 シリーズ13：日本国際芸術協会関係資料, 1957-1962 シリーズ14：国宝中尊寺金色堂保存修理委員会関係資料, 1960-1971 シリーズ15：アラブ連合友好協会関係資料, 1960-1970 シリーズ16：畠山記念館関係資料, 1964-1973 シリーズ17：石川県立輪島漆芸技術研修所関係資料, 1967-1976 シリーズ18：正倉院懇談会関係資料, 1968-1981 シリーズ19：日本文化財漆協会関係資料, 1972-1976 シリーズ20：世界クラフト会議日本国内委員会関係資料, 1973-1978 シリーズ21：永青文庫関係資料, 1975-1976 シリーズ22：明治村関係資料, 1976
アーキビストノート	3.7.1	作成者：湯地ふたば 所属機関：東京芸術大学未来創造継承センター大学史史料室（旧制東京美術学校部門）
記述年月日	3.7.3	2025年9月7日

※上記の表の項目は、国際標準アーカイブズ記述第2版（General International Standard Archival Description Second Edition：ISAD(G)）に準拠したものである。